

polk®

オーナーズマニュアル

取扱説明書

PSW10™

はじめに

注意: サブウーファーは重量があります。サブウーファーの開梱時は注意してください。

スピーカーを入念に点検してください。損傷や欠品がある場合は、Polkディーラーにお知らせください。箱と梱包材は保管してください。運搬の必要性が生じた場合、スピーカーの保護に役立ちます。

サブウーファーの配置

スピーカーシステムから最大限のサウンド品質を引き出すには、正しい配置が重要です。PSW10サブウーファーは、2.1ch、3.1ch、5.1ch、7.1ch、9.1chセットアップと互換性があります。サブウーファーを最適な場所に配置すると、低音出力の性能により劇的な効果が得られます。

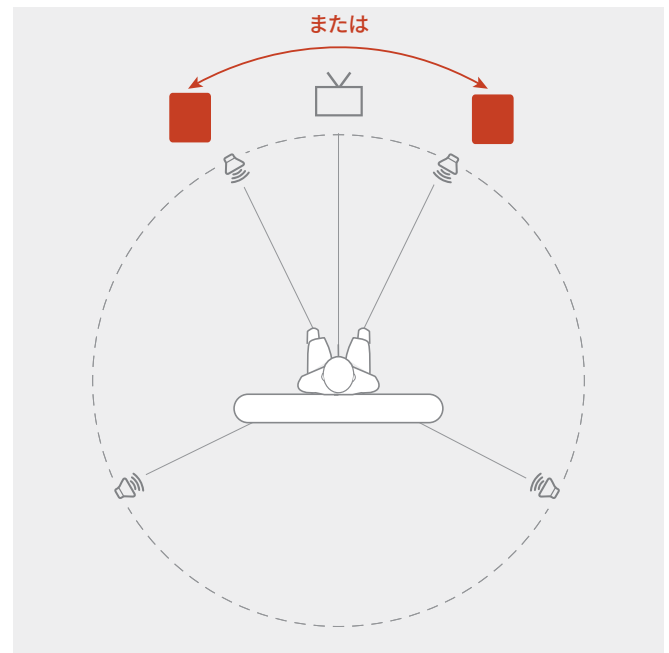
1台のサブウーファーでのリスニング

1台のサブウーファーのセットアップでは、サブウーファーを左右どちらかのフロントスピーカーの背後（壁側）に配置することをお勧めします。サブウーファーをリスニングエリアの中央に配置すると、最適なサウンドが得られず、低音出力の量が減少する可能性があります。歪を最小限に抑えて、最高のサウンドを得るには、サブウーファーを壁から約6インチ（15センチ）離して配置してください。

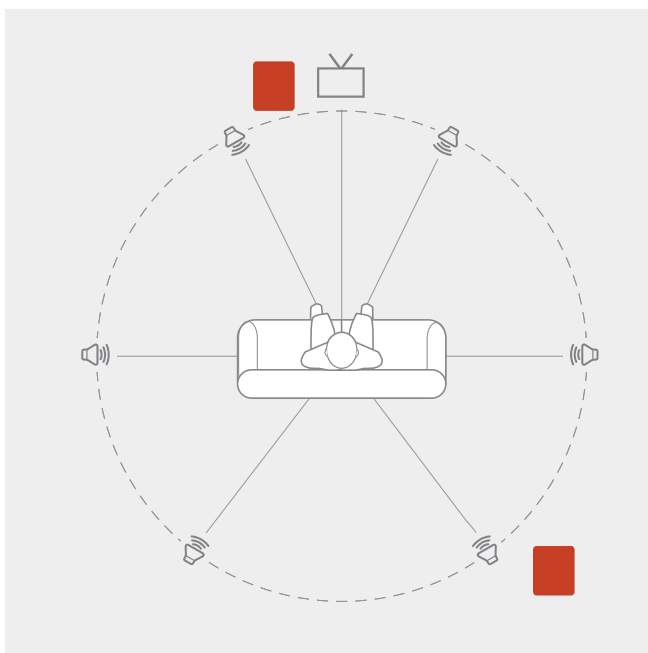
2台のサブウーファーでのリスニング

2台のサブウーファーを配置する場合は、1台目のサブウーファーを左右どちらかのフロントスピーカーの背後（壁側）に配置し、2台目のサブウーファーを1台目のサブウーファーの対角線上に配置します。各サブウーファーは壁から少なくとも約6インチ（15センチ）離してください。これにより、最高のリスニング体験が実現します。

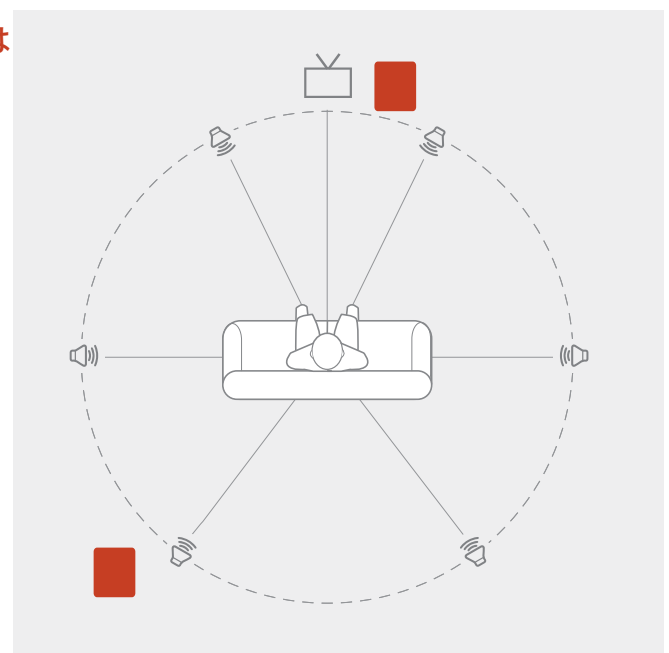
1台のサブウーファーのセットアップ



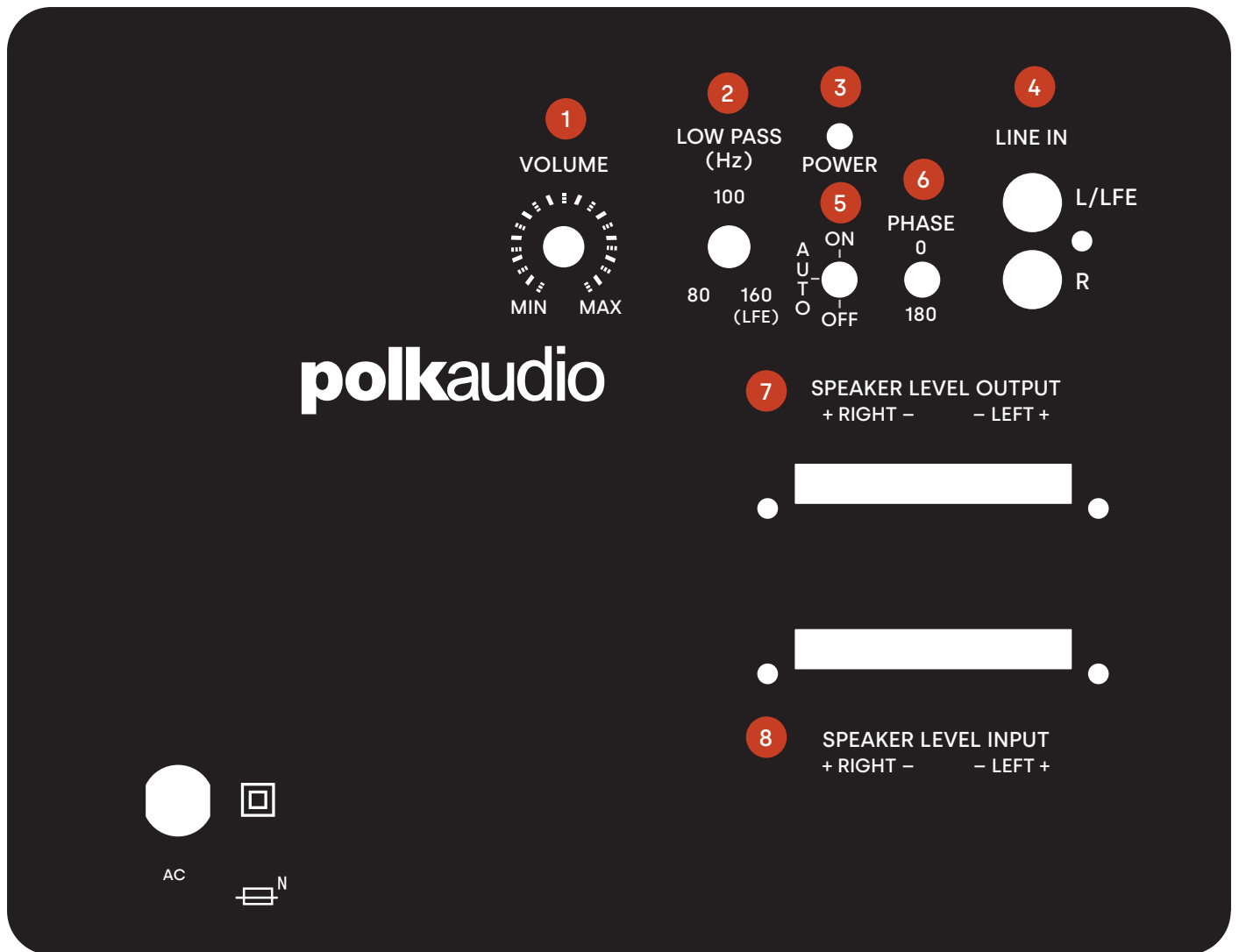
2台のサブウーファーのセットアップ



または



サブウーファー背面パネルのコントロール



1	音量調節
2	ローパスフィルター
3	電源自動/オン&オフ
4	ライン入力 (LFE = 白色RCA)
5	LED電源表示ランプ
6	位相制御
7	スピーカーレベル出力
8	スピーカーレベル入力

サブウーファーの接続オプション

入力をサブウーファーに接続するには、次の3つのオプションから選択します。LFE、ライン入力、スピーカーレベル入力。
安全の手引きに従って、必ず電源コードを電源コンセントに差し込んでください。

注：サブウーファーのAC電源コードをレシーバーのスイッチ付きコンセントに接続することはお勧めしません。

1 LFEのセットアップ

Yアダプターがあるかどうかに応じて、以下の該当するセクションの手順に従ってください。

Yアダプターあり

1. アンプ/レシーバーの電源を切り、サブウーファーをACソケットから外します。
2. YアダプターをアンプのRCA入力に接続し、レシーバーからのLFEケーブルをYアダプターに接続します。
3. サブウーファーのローパスフィルターノブを160Hzにします。
4. デフォルトの音量を12時の位置に設定します。
5. サブウーファーをAC電源に接続して電源を入れます。

Yアダプターなし (通常はこちらの接続を推奨します。)

1. アンプ/レシーバーの電源を切り、サブウーファーをACソケットから外します。
2. レシーバーからのLFEケーブルを左側のRCAライン入力(白色)に接続します。
3. サブウーファーのローパスフィルターノブを160Hzにします。
4. デフォルトの音量を12時の位置に設定します。
5. サブウーファーをAC電源に接続して電源を入れます。

2 ライン入力のセットアップ



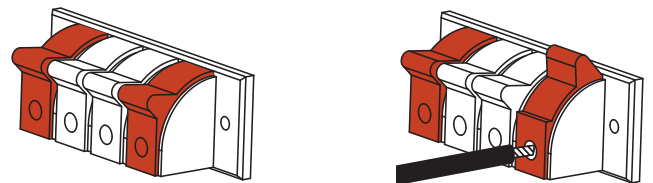
この方法は、2チャンネルシステムなど、LFE/サブウーファー出力ジャックのないシステムに推奨されます。

1. アンプ/レシーバーの電源を切り、サブウーファーをACソケットから外します。
2. レシーバーのフロント左右のプリアウトジャックから標準RCAケーブルを接続します。
3. サブウーファーをAC電源に接続して電源を入れます。
4. デフォルトの音量を12時の位置に設定します。
5. サブウーファーのローパスフィルターを適切な周波数に設定します。

3 スピーカーレベル入力のセットアップ

この方法は、LFE/サブウーファーまたはプリアウトジャックのないアンプ/レシーバーに推奨されます。

1. アンプ/レシーバーの電源を切り、サブウーファーをACソケットから外します。
2. アンプ/レシーバーのスピーカー出力端子から標準スピーカーケーブルを接続します。ほとんどのアンプ/レシーバーのスピーカー出力端子では、2本のケーブルを1つの端子台に接続することができます(1本はメインスピーカー用、もう1本はサブウーファー用)。



重要：各チャンネル入力の一方の端子は赤色帯(+)でマークされ、もう一方の端子は黒色帯(-)でマークされています。アンプ/レシーバーの赤色(+)端子からサブウーファーの赤色(+)端子にケーブルを接続し、アンプ/レシーバーの黒色(-)端子からサブウーファーの黒色(-)端子にケーブルを接続します。システム内のすべてのスピーカーを同じ方法(正しい極性)でアンプに接続することが最も重要です。低音が不十分な場合は、1つまたは複数のチャンネルが誤った極性に接続されている可能性があります。その場合は接続し直してください。細心の注意を払って、すべてのチャンネルでプラス同士、マイナス同士を接続します。

3. サブウーファーをAC電源に接続して電源を入れます。
4. デフォルトの音量を12時の位置に設定します。

システムの調整

サブウーファーの調整

パワードサブウーファーには、各種設定オプションがあります。以下の初期設定をお勧めしますが、最適な設定はスピーカーの配置、電子機器、個人的嗜好によって異なります。設定した機能に慣れたら、別のオプションも試して、システムセットアップに最適な方法を見つけてください。

注：サブウーファーを初めてセットアップして、お好みの音楽を聴く場合、おそらく数回調整する必要があります。50%程度の音量から始めてください。

AC電源接続と自動オン/オフ

PSWシリーズサブウーファーは、電源スイッチに「AUTO (自動)」と示された自動オン/オフ回路を備えており、プログラム信号を検知すると自動的にサブウーファーをオンにします。サブウーファーに常に電力が供給されている場合 (つまり、壁コンセントに差し込まれている場合) は、「AUTO (自動)」設定をお勧めします。

信号がない場合、回路は15分後にサブウーファーをオフにします。音楽が始まってからサブウーファーがオンになるまでの短い遅延が気になる場合は、サブウーファーを「ON (オン)」位置のままにしてください。旅行などで長期間使用しない場合は、サブウーファーの電源コードを抜いた状態にしておくことをお勧めします。

サブウーファーの微調整

音量：様々な音源やビデオ視聴しながら調整します。「大き過ぎず」、深みのあるパワフルな低音に調整します。

ローパス：このコントロールは、サブウーファーが動作する周波数範囲を調整します。メインスピーカーが小型の場合、コントロールを上限にするとはほぼ確実に最適なサウンドをもたらします。大型のスピーカーでは、コントロールを下限にすると最適なサウンドが得られます。ただし、必ず聴きながら最終的に判断してください。男性ボーカルが「弱く」聴こえる場合は、音声「大き過ぎず」豊かに聴こえるまでこのコントロールを上げます。男性ボーカルが過度に「強く」または「大きく」聴こえる場合は、音声「自然に聴こえるまで」このコントロールを下げます。

位相スイッチ：お好みのリスニングポジションに座ります。ウォーキングベースラインのような音楽を再生します。ジャズやカントリーミュージックの再生をお勧めします。次に、サブウーファーがメインスピーカーに移行するポイントに注意深く聴いてください。これがクロスオーバーポイントです。このポイントでは男性ボーカルの周波数よりも低くする必要があります。位相設定では、サブウーファーのクロスオーバー (トランジション) ポイントで「大きく」または「豊かに」聴こえることが最適な設定です。この違いが聴き取れない場合もあります。

トラブルシューティング

サブウーファーからサウンドが聴こえない場合：サブウーファーがレシーバーのサブウーファー出力からLFEまたはライン入力に接続されている場合は、レシーバー設定に「Subwoofer = yes (サブウーファー = あり)」と表示されていることを確認してください。

サブウーファーからサウンドが正常に聴こえない場合：サブウーファーがレシーバーのサブウーファー出力からLFEまたはライン入力に接続されている場合は、レシーバー設定に「Subwoofer = yes (サブウーファー = あり)」と表示されていることを確認してください。

サブウーファーに電源が供給されていない場合：電源コンセントが動作 (導通) しているか確認します。サブウーファーの電源コードを抜き、作業灯を差し込んでコンセントをテストします。

仕様

サブウーファー補数：25.4cm

オーバーオール周波数特性：35 ~ 200Hz

最大出力：100ワット

RMS出力：50ワット

クロスオーバー周波数：80 ~ 160Hz

磁気シールド：なし

標準外装：ブラックオーク

寸法：高さ36.7 x 幅35.6 x 奥行き41.5 cm

製品重量：11.7 kg

POLK. EXPECT GREAT SOUND.®

当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

0570 (666) 112 または
050 (3388) 6801

FAX: 044 (330) 1367

受付時間 10:00 ~ 18:00
(当社休日および祝日を除く、月~金曜日)

電話番号・ファックス番号は変更になる場合があります。

修理相談窓口

0570 (666) 811

■ 受付時間 9:30 ~ 12:00、13:00 ~ 17:30
(当社休日および祝日を除く、月~金曜日)

■ 上記番号がご利用いただけない場合
0466 (86) 9520

■ 代表修理窓口
首都圏サービスセンター
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2010-16
FAX: 0466 (86) 9522

ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を
受け付けておりません。お持ち込みいただいても受け取ることが
できませんのでご了承ください。

polk®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町 2-1 D&Mビル